

よどえのやど
 淀江の宿
 いまづたなかや
 今津田中家
 瓦版

第8号

2023.11 発行

参加者から高評価を戴いた観光庁合宿

2023年7月19日20日に、観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」の11モデルの各地域から各3名、観光庁や観光の専門家の方々など約70名が集まる「鳥取島根合宿」が、鳥根県東部・鳥取県西部で開催され、淀江の宿今津田中家の田中洋子も参加、関わらせていただくことが出来ました。19日のお昼に「夢みなとタワー」に集結。かまいしDMCの久保竜太さんの講演の後、グループに分かれて、1日目のフィールドワークに出発しました。フィールドワークは翌日の午前中もあり、参加者は各々4つのフィールドワークのうち2つに参加しました。2日目の午後は、また「夢みなとタワー」に集まって、ワークシヨップ（各地域の発表）が行われ、解散。観光庁や専門家の方など10名はその前後で1泊4泊、淀江の宿今津田中家や近くのHidden westに泊まっていた。ただし、毎晩夜遅くまでこの地の価値についてのディスカッションが繰り返されました。



4つのフィールドワーク

- 大山山麓源流流域のシャワークライミング（鳥取県大山町）
- 山楽荘→大山寺→大神山神社（鳥取県大山町）
- 田部家→鉄泉堂→菅谷たたら山内（鳥根県雲南町）
- 小泉八雲記念館→黄泉比良坂→畑地区干し柿（鳥根県松江市）

大山で感じる苔・岩・森の 始まり水の道プログラム

フィールドワークの一つ「大山山麓源流流域のシャワークライミング（鳥取県大山町）」は、「一般社団法人Biusi Daisen」（淀江の宿今津田中家のオーナー田中洋子が専務理事を務める）が提供するプログラムです。

■ 杉崎元哉さん（なかやまトレック代表、神戸市出身で鳥取環境大学卒業後大山町に移住し、シャワークライミングやサイクリングなどの体験プログラムを提供）

■ 大原徹さん（代表理事、淀江町今津のゲストハウスHidden westのオーナー、海山の体験プログラムを提供）

■ 秋元大さん（顧問、2022年から東京との二拠点生活を開始しHidden westに居住）

まずは大神山神社にご挨拶し、そこからマイクロバスで移動して甲川へ。山深い参道を歩き、水に浸かり、身体全体で感じる中で、秋元大さんの科学的なアプローチによる深い洞察の解説が随所に入ることにより、理解がより進み、学びや気づきを得られるプログラムです。

7月4日に観光庁長官を退任された和田浩一参与や星明彦調整官など観光庁の方々、また専門家や各モデル地域の方々、2日間で19名の方に提供して、高評価を得ることが出来ました。

プログラムに参加しての感想

満足が89%、やや満足が11%

・大岩から川の深みに飛び降りるなんて、子供に選んだような気持ち。シャワークライミングそのものの楽しさや、大山との一体感ほちろん、苔から水の循環を読み解くインタープリターの「伝える力」を実感できました。ただアクティビティを楽しみただけでなく、ガイドの方のお話によって、より深く大山の山や水、自然や歴史の尊さを学ぶことができたため

・初めてシャワークライミングを体験したが、ガイドの方の説明も丁寧でも満足度のいくものだった。

・大神山神社に行くというプログラムの一連の流れがよく考えられていると思いました。また、ガイドさんのインタープリテーションが素晴らしい、単なる水辺のアクティビティにとどまらない、学びの多いプログラムでした。ギアの準備、ガイドさんの安全管理も素晴らしい、安心して楽しむことができました。あと、大山の恵みである水を体中で感じる事ができ、素直にとっても気持ち良かったです。

・心からクライミングを楽しめたこと、ガイドの知識の深さや対応に感銘を受けた

・大山や周辺の自然、歴史等を踏まえたうえで、体験をすることで、単なる体験でなく気づきにつながった

・水源を守る神社へお参りしてから、伏流水で冷たい水龍（川）の中へ頭まで、ダイブする経験が千と千尋の神隠しを想起させ、ガイドングで伝えたいことが腑に落ちた。ネイチャーガイドでないことも新鮮であった。（観光庁実施アンケートより抜粋）

淀江の大正蔵での交流会

1日目のワールドワークの後は大正蔵に集合し、19時頃から交流会が開催されました。

会場設営・会場コーディネート・ドリンク提供は石原奈津子さん(大正蔵のオーナー、インテリアデザイナー、廃業した酒蔵をアップサイクルリノベーション)、食事提供のコーディネートは小林睦さん(Bisui Daisenの事務局スタッフ、1年前に広島県福山市から移住し、Hidden westに居住)、観光庁・鳥取県・事務局などとの交渉などトータルコーディネートは田中洋子が行い、交流会に臨みました。



交流会に参加しての感想

満足90% やや満足10%

■歴史ある酒蔵を改装して活用している素敵な事例ですね。地元の方々の温かいおもてなしや特徴的な郷土の味わいも嬉しい限りでした。参加した他の皆様ともたくさん交流させていただき、充実した時間を過ごすことができましたのは、場の力もあると思います。■雰囲気のある建物で、料理も地元のもので手作り感があつたです。大正蔵の雰囲気がとても良かったです。淀江の皆様の運営が素晴らしかったです。■料理も演出も雰囲気も最高でした。淀江の皆様ありがとうございました。



■地域の地のものの恵みと人々の生活が直結していた。■たくさんの方とオープンな場で交流することができたため。また雰囲気も良かった。■会場の雰囲気、美味しいお料理の数々、お酒、お料理を準備してくださった皆様、すべてが素晴らしかったです。鳥取の食を堪能することができました。あえて言うならば、会場の大きさに対して人が多く、身動きがとりづらかったように思います。■他地域の課題など情報交換ができてよかった。そこに住む地域の方とも会話ができ、食文化に触れることができてよかった。■地元の食材を使ったおもてなしが良かった。■場の力、何より作り手の皆様が生き生きと仕事、生活を楽しんでいることに刺激を受けた。また移住者が多いのも自分の地域と同様で親近感を感じた。もっと長くいたかった。■とてもセンスが良く、良い場所だったと感じています。食事も地域の方のご協力もあつて、とても素晴らしい時間でした。■淀江やそこに集う人たちのキラキラしたパワーを感じました。とても特別な空間に思えました。■地域に民力の高さ、おもてなしのクオリティが高かった。■地域の憩いの場、交流の場でもあり、地域の食材を活用した料理を食べ

れる場所としても素晴らしいと感得と思う。■地元の方が協力してケータリングを行ってとても参考になった。一品一品の特色がとても上手に出していた。■素晴らしい口ケーションと、地域の多様な皆様のおもてなし、そして美味しいお料理。■食材が素晴らしく料理が絶品だった。幅広い団体の方々と交流できた。■空間演出、出逢いとネットワーク、程よい距離感、程よい空間で心地よく、あと2時間くらい続けたいのに・・・と感じたほどでした。■とても良い空間だった。歴史的な雰囲気と地域の熱気にエンパワメントされた。■地元の食べ物、飲み物に触れることができ、多くの人と交流ができた。話が忙しくて、食べ物をほとんど口にできなかったことが残念。

(観光庁実施アンケートより抜粋)

この地の価値を可視化する

地形からの恩恵を受け、大陸の文化を受け入れ融合して、6000年以上前から同じ場所の人々の営みが続いているこの地は、日本の成り立ちを捉え直し、我々の社会とはどのようなことから出来ているかを学べる最高のフィールドであり、SDGsを超える仕組みに気づくことのできる世界最先端の地になり得る土地だということ、観光庁や県外の有識者の方々から注目をされています。

Bisui Daisenでは、秋元大さんを中心に、文化人類学者の方や地元の学生などとチームを組んでいただいて、「この地の価値」の再定義を行って可視化し、ヤマタノオコチ神話の舞台、船通山に源を発する日野川と斐伊川の流域全体(伯耆出雲エリア)で体感し学ぶことができる価値の高いツーリズムを地域の方々にもご協力いただいで作り上げていきたいと考えています。会員・基金なども募集しておりますので、ご興味のある方はぜひご参画・ご協力ください。

【食事のメニュー】大正蔵お品書き

<藤本シェフ>

大山鶏のオリエンタル
イカと夏野菜のタブレ
焼き牡蠣のジェノベーゼ(山中さんの獲った牡蠣!!)

<真名井ばあちゃんのせせらぎレストラン>

真名井そば
ばいかもしょうがおにぎり
うどんの煮付け
ばいかもこんにやく
あかもくそば
トマトとしそのジェノベーゼサラダ
なすびとピーマンの塩麹煮
にんにくみそ

<あまのね>

夏野菜サラダ
春雨入り玉子豆腐
スタミナ納豆

<今津のありがたい近所さん山中さん>

はでかけ米おにぎり・板ワカメ

<喫茶うみねこ>

大葉みそ・うめみそ
あご焼き・豆腐ちくわ・赤天
干し柿クリームチーズカナッペ
ブルーベリーの牛乳かん

<メイちゃん農場>

ヤギ乳のパパロア

<ハンガリー料理 OTTO>

オットー君ママ特製のグヤーシュ

<中華系マレーシア人 ルンさん>

点心

<地元産のドリンク>

大山Gビール
千代むすび酒造「長年」
(平成4年まで大正蔵で造られていたお酒)
久米桜酒造「生もと加水にごり」
山根酒造場(日置桜)「山滴の特別純米生酒」
梅津酒造「野花のきょう」(日本酒ベースの梅酒)
自家製ジンジャーエール・柚子ソーダ
あかしそジュース・大山の森の野草茶など

お得な特典たくさん!
淀江の宿今津田中家
会員募集

年会費
2,000円

会員特典

- 毎月1回 瓦版など印刷物の郵送
- 毎月1回 各種割引券
(飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- お米1升(約1.5kg) プレゼント(きぬむすめ or もち米)
※11月以降 当宿にてお渡し



※瓦版は淀江の宿今津田中家でも配布しております。また SNS などでも瓦版情報を随時提供しますので、SNS (4面参照) もご登録ください。

今津田中家のお米こだわりポイント

ありがたいご近所さん 農業スペシャリストの山中さんが飼育されている和牛の牛糞を撒き、耕した田んぼです。

田植え時に田植え機に搭載した除草剤を撒いた以外、農薬や化学肥料などは不使用です。畔の草を刈らずに伸ばし、害虫が畔に来るようにして、害虫からお米を守りました。

稲刈りの後、「太陽の光」「自然の風」によってじっくりと時間をかけて水分を飛ばして乾燥させる「天日干し(はで掛け)」を行ったお米です。

宿にある精米機を使用し、その場で(郵送の場合は出荷時に)、粳(もみ)→玄米、もしくは粳(もみ)→白米の精米を行います。

ご希望の方には、精米して出た「粳穀(もみから)」「米ぬか」を一緒にお渡し(同封)します。

「淀江の宿 今津田中家」こだわりの「はで掛け米」「きぬむすめ」と「もち米」を販売いたします。料金など詳しくはHPをご覧ください。



2023年5月〜10月、霊峰大山に見守られ、大山・孝霊山から下りてくる清水を使い、海・山に囲まれた豊かな土壌を持つ田んぼで、農業一年生の淀江の宿今津田中家のオーナー高岡洋子が、ありがたいご近所さん農業スペシャリストの山中さんご夫婦の助けを全面的に借りながら、集まってくださった皆さんと一緒に、こだわりの「はで掛け米(天日干し米)」を育みました。

11月中旬より、新米のきぬむすめともち米を販売します。

美味しいお米が出来ました!

日替わり店長カフェ紹介

すまいるびとsanin

数量限定



すまいるびとsaninのランチは「おむすびとみそ汁」。田中家さんのはでかけ米に、すまいるびとsanin仕込みのお味噌など、素材にこだわって、心を込めてお作りします。ぜひご賞味ください。カフェメニューは、オリジナル野草茶 & 甘酒ボウル とよぎパウンドケーキ。免疫力アップのドリンクメニューとして梅酵素ジュース、パーモンド酢ジュースをご用意しています。

11月は18日土曜日 11:30~15:00 ランチ&カフェの1日みの営業となります。ご予約お待ちしております。

- おにぎり&お味噌汁セット ¥1,000
- 甘酒ボウル&野草茶セット ¥1,000
- よもぎパウンドケーキ&野草茶セット ¥1,000
- ドリンクメニューはいずれも ¥500

※いずれのメニューにもドライ野草の足浴体験付き♡



淀江の宿今津田中家

数量限定



地元野菜たっぷりのキーマカレーやスープ・自家製黒豆のおからサラダ、自家製黒豆や梅のスイーツ & ドリンク、珈琲・ラテなどを提供します。

- 淀江の宿今津田中家 自家製ランチ ¥1,100
※自家菜園で採れたものと淀江漁港で獲れたものを使ったランチ
- キーマカレー・スープセット ¥1,100
- ラテ (HOT・ICE) ¥550
- 黒豆スイーツ (アイスクリーム・豆花等) ¥330~
- 梅ドリンク ¥440~



「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQは4名以上でご予約を承ります(7時~21時)。詳細はWEBサイト等でご確認ください。

11月の日替わり店長カフェスケジュール

11/11(土) 各 9:30 ~ 14:30 ~
BisuiDaisen 見学相談会

11/18(土) ランチ ティー
11:30 - 15:00 すまいるびとsanin

11/12(日) ランチタイム
11:00 - 14:00 淀江の宿今津田中家

11/25(土) ランチタイム
11:00 - 14:00 淀江の宿今津田中家

11/14(火) ティータイム
14:00 - 16:00 淀江の宿今津田中家

11/28(火) ティータイム
14:00 - 16:00 淀江の宿今津田中家

連載「淀江プロジェクト」物語 [第七話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第7話：曇天野外から...姐さん&しょうきちの素敵な訪問

面白い若者たちがいますよ！

話は少し遡り、2019年11月3日、離れのゲストハウス化に向けた建築士さんとの打ち合わせのために会社のスタッフや知人なども同行して淀江に帰った洋子は、夕方に近くの海で動画を撮り、翌日Facebookに投稿をした。

「日本海に沈む夕日と大山
実家の離れをゲストハウスにしようと動き始めました。」

この投稿を見たサハラクミコさんが、「面白い若者たちが鳥取に居ますよ。ゲストハウスをするならこの子たちにやってみてもらうのはどうですか？」というFacebookメッセージを洋子に送ってくれた。

サハラクミコさんと洋子は、大阪の3階建ての古いビルをみんなでリノベーションした「SALTYALLEY」というイベントスペースで、2017年のイベントを実施したときに知り合った。

リンクを貼って紹介してくださったのは、空き家を改築しながら全国を旅する集団「パーリー建築」。鳥取市浜村温泉に移住し、11月18日に「曇天野外」という音楽フェスを開催、そのイベントに出店する大阪の「前田文化」の野崎将太さんと一緒に、サハラクミコさんも浜村に來訪するということが分かった。

洋子もその時期はちょうど淀江に居る予定で、曇天野外のイベントが終わった翌日19日に、「姐さん」ことサハラクミコさんと「しょうきち」こと野崎将太さんとその仲間が、見学に來てくれることになった。



訪ねてくれたメンバーと近くの「メイちゃん農場」も見学

片付けから関わらせてください。
長く使える家にしていきましょう！

サハラクミコさんが、しょうきちさんとその仲間たちも一緒に4人で淀江にやって来てくれたのは2018年11月19日(月)の午後。大量の荷物が溢れる迷路のような母屋を通り見学。屋根裏にも梯子をかけて上り、祖母が生活していた離れまで、隈なく見てもらう。「迷路みたい」「まだ奥がある」「ここ何？」時折、はしゃぐ声も聞こえてくる。

のちの2020年に建築集団「タ(ノマ)」を立ち上げたしょうきちさんは、この当時は、文化住宅を舞台にパフォーマンスを行う「前田文化」のメンバーで、例えば文化住宅を解体するときにお相撲さんと呼んできて、どれだけ壁が壊せるか試したり、クラシックのコンサートと解体を組み合わせてみたり...といったパフォーマンスをしながら、リノベーションなどをやっており、人を巻き込んでいく力が抜群だった。

洋子は前日に貰った約70万円の片付けの見積書を見せて、離れなども合わせると100万円くらいはかかることを説明した。

「我々のコミュニティを作りながら行う建築は、建物との関わりが出来るだけ長い方が良くと思っています。片付け時から発信を開始して、中身を一緒に考えていくのはいかがでしょうか。洋子さんたちご家族の思い出の詰まった家を長く使える家にしていきましょう！」

「このユニークなメンバーたちと一緒に、母屋を解体せずに、これからも長く使える家にできる！」

1年前に息子 義邦が「お母さんが淀江に居たらなかなか会いに来れないし、もう淀江は売ってしまったら？」という提案に対して発した「よしくんは世界で活躍してよ。リモートで会話する形でいいよ。私は若い子をここにたくさん呼んで、その子たちと楽しくやっていくから」という言葉が現実となって若い子といる一緒にできそう、まだ漠然としていてどうなるかはわからないけれど、楽しい未来が開いていけそうな予感がして、洋子は胸を躍らせた。

— 第八話に続く —

作者・田中 洋子

株式会社代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてシェアリングし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

「第7話」



淀江の宿
今津田中家
=IMAZU-TANAKA-YA=

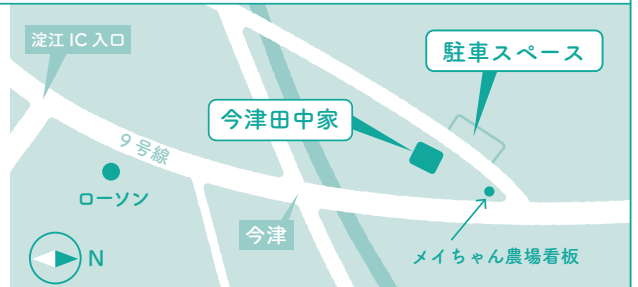


ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家
〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1
TEL : 0859-30-3889
www.imazutanakaya.com



今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE公式アカウント
お店のポイントが貯まる！

